

第3回血管炎早期発見研究会 プログラム

会期：2015年12月19日（土）10:00～17:00

会場：東京都健康長寿医療センター 研究棟3階会議室

主催：一般社団法人腎臓血管加齢医療研究機構

10:00 開会 湯村和子（国際医療福祉大学病院腎臓内科）

10:05～11:45 演題発表

司会：板橋美津世（東京女子医科大学第四内科）

1. 早期発見が重要と思われた MPA（疑い）の2例

大町土谷クリニック

熊谷純子、高橋直子

2. 乳腺の生検で肉芽腫性血管炎を認めた MPO-ANCA 陽性多発血管炎性肉芽腫症の1例

杏林大学第一内科：腎臓・リウマチ膠原病内科

久木元光、清水英樹、塚田弘之、内田裕子、増古紳太郎、川嶋総子、軽部美穂、
駒形嘉紀、要伸也、有村義宏

3. 当院で経験した早期全身型の ANCA 関連血管炎の症例

東京都健康長寿医療センター膠原病・リウマチ科

松本拓実

4. 腎機能正常期に発見され、経過中腎障害が進行し治療を開始した MPO-ANCA 陽性の1例

栃木県済生会宇都宮病院腎臓内科¹⁾、同 臨床研修医²⁾

大久保泰宏、山中真理子¹⁾、神保麻耶²⁾

5. 早期診断し得た Giant cell arteritis の1例

神奈川県立汐見台病院腎臓内科¹⁾、東京慈恵会医科大学腎臓高血圧内科¹⁾

小林政司¹⁾²⁾、天野方一¹⁾²⁾、川口良人¹⁾、横尾 隆²⁾

11:45～12:15 ミニレクチャー

司会：湯村和子（国際医療福祉大学病院腎臓内科）

壊死性血管炎と半月体

東京腎臓研究所

山中宣昭

12:20～13:20 ランチョンセミナー

司会：湯村和子（国際医療福祉大学病院腎臓内科）

血管炎による肺出血は早期発見で防げるか

東邦大学医学部内科学講座呼吸器内科学分野

本間 栄

13:25～14:25 特別講演

司会：橋本博史（順天堂大学医学部名誉教授）

顕微鏡的多発動脈炎（MPA）と多発血管炎性肉芽腫症（GPA）の違い

杏林大学第一内科（腎臓・リウマチ膠原病内科）

有村義宏

14:30～15:30 教育講演

司会：湯村和子（国際医療福祉大学病院腎臓内科）

1. ANCA 関連血管炎の早期発見、その重要性和難しさ

—厚労省診断基準作成時を振り返って—

順天堂大学医学部名誉教授

橋本博史

2. 血管炎の早期の病態

国際医療福祉大学病院予防医学センター・腎臓内科

湯村和子

3. 血管炎における抗モエシン抗体の意義

帝京大学アジア国際感染症制御研究所

鈴木和男

15:30～16:55 交流会・早期発見のための検査について

16:55～17:00 閉会の辞

橋本博史（順天堂大学名誉教授）
